

各地区業況アンケート結果（2019年12月調査分）

（2019年12月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

12月24日締切で、当会役員149名に対しこのアンケートを行ったところ82名の回答があり（回答率55.0%）その結果が下記のとおりまとめましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、(数は回答実数)

1. 前年同月比増は僅か、1割の企業

問1】貴社の11月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	5	3	20	20	33	81	74
比率	6%	4%	25%	25%	40%	DI-90	DI-96
売上金額/前年同月比	5	3	23	19	32	82	75
比率	6%	4%	28%	23%	39%	DI-85	DI-76

2. 収益状況、少し改善

問2】貴社の11月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	18	18	33	9	4	82	73
比率	22%	22%	40%	11%	5%	DI+45	DI+25

3. 前月比さらに減少で厳しい販売状況

問3】貴社の営業窓口から見て12月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		7	30	15	4	56	-29	-21
民間建設向		7	33	22	4	66	-35	-25
自動車向			24	16	2	42	-48	-50
その他需要家向		2	30	31	6	69	-59	-44
仲間取引		1	28	27	10	66	-70	-46
計	0	17	145	111	26	299	-49	-36
比率	0%	6%	48%	37%	9%			

4. 年明けも厳しい状況続く

問4】貴社における向う1月から3月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	2	5	34	32	9	82	75
比率	2%	6%	42%	39%	11%	DI -50	DI -41

5. 過剰気味傾向変わらず

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	品種別	A	B	C	D	E		12月
DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI												
0	19	11	0	0	6	0	-7	-14	-28	-31	-27	-34	鉄筋用丸鋼		2	28	5		35	-9
7	0	0	-3	0	-6	-3	-16	-18	-23	-29	-28	-25	構造用丸鋼		1	24	8		33	-21
-3	3	0	-3	3	-8	-8	-9	-18	-20	-10	-12	-6	平角鋼			29	5		34	-15
41	41	36	15	11	-8	-24	-22	-36	-29	-29	-18	-13	H形鋼		2	28	4		34	-6
125	89	120	85	57	25	12	4	-11	-15	-26	-11	-19	コラム			21	6		27	-22
5	3	-6	-11	-8	-3	-10	-14	-15	-16	-24	-16	-17	小形山形鋼			32	9		41	-22
3	3	-6	-14	-8	-15	-15	-16	-20	-23	-29	-21	-22	中形山形鋼			29	12		41	-29
5	0	-9	-11	-3	-13	-19	-17	-23	-21	-26	-29	-19	溝形鋼			29	10		39	-26
-6	-14	-9	-16	-9	-3	-12	-10	-13	-15	-34	-30	-31	軽量形鋼C形			22	9		31	-29
-5	-5	0	-9	0	-12	-10	-5	-5	-11	-25	-16	-15	軽量形鋼広巾			18	4		22	-18
8	12	0	-3	0	-21	-32	-34	-43	-58	-58	-53	-53	冷延薄板			18	13	1	32	-47
17	14	16	-3	-3	-21	-28	-34	-55	-55	-50	-56	-60	熱延薄板			20	15	1	36	-47
0	8	0	-7	-10	-32	-43	-45	-52	-53	-68	-59	-53	表面処理鋼板			17	15	1	33	-52
20	34	16	3	0	-25	-39	-38	-44	-51	-57	-53	-56	酸洗鋼板			15	17	1	33	-58
20	20	18	7	0	-13	-19	-33	-50	-48	-47	-51	-50	中板			26	18	2	46	-48
49	45	36	15	17	0	-10	-29	-50	-38	-45	-51	-49	厚板			26	16	3	45	-49
33	19	6	19	5	0	-13	-12	-32	-25	-20	-28	-22	極厚板			14	4	1	19	-32
0	6	-6	6	0	0	0	-14	-19	-13	-29	-27	-21	縞板			27	8		35	-23
16	3	0	-5	-10	-8	-18	-15	-30	-18	-31	-30	-28	中径角			30	11		41	-27
3	8	13	2	2	-8	-8	-13	-16	-10	-25	-15	-19	ガス管黒	1	1	35	5		42	-5
-3	-8	0	-5	-5	-13	-19	-5	-17	-11	-22	-16	-17	構造用鋼管	1	1	33	5		40	-5
14	14	10	2	1	-9	-15	-19	-28	-28	-34	-31	-30	計	2	7	521	199	10	739	-28

6. 需要減、在庫増で悪い状況

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	一般形鋼は冬場の不需要期に突入し、在庫の荷動きは悪くなった。相変わらず即納で中小物件は少ない状況。Hグレードファブは来春以降の大型物件の材料手配が始まり、来年もほぼ仕事を確保していると聞いている。冬場も工場稼働率が高いファブもあり、少し期待している。
	B	例年より早く需要が落ちた感がある。一時的なスクラップ急落で丸棒市況も弱くなった。閑散期の中、様子見状態である。
	C	市況が一段と弱くなっている。物件数も減ってきているので、この先の市況が心配である。
東北	A	新規物件が少ない。スクラップは上がれど、単価は下がるのか。
	B	足元、需要は少ない状況だが、スクラップ価格が反発しており、メーカー値上げになると思われる。明細が出てくることに期待している。
	C	数量の減少、口銭の低下で業績は悪化している。
	D	案件が年々減少傾向にあり、売上も減少している。建設業に限らず、製造業も加工が減少と厳しい景況だが、年明けの案件に向けて頑張る。
新潟	A	スクラップが若干反発したが、荷動きは相変わらず安定である。
	B	台風の影響で生産に支障があった建機関連の部品供給が少し戻ってきたが、冬に向かって厳しい状況が続く。
	C	11月から変わらず、荷動きは盛り上がりを感じられない。単価も安い定時が散見される。地道な影響に徹する。
	D	先行き不透明、厳しい状況が続くのではないかと心配である。
	E	加工品によって、稼働が順調なものそうでない物のバラツキが出てきた。1～2月の冬場での物件は少ないが、春先からの物件が見えてきたので弱気にならずに相場の維持に努めたい。
	F	需要が少なく、停滞気味である。来年1～3月もあまり期待できないが、その後は期待できそうな状況。現状は無理せず、価格維持を主眼に商売していきたい。
	G	季節商品は盛り上がりなく、産業機械、自動車も同様で、全体では前年を下回る状況。ファブの需要も山は高くなく、特に地場物件が少ない。価格は需要減と在庫の過剰感から値上げムードは感じられず停滞している。
神奈川	A	工作機械の引合いが少ない状況である。短納期のお客様の受付を頂いており、忙しい状況ではある。公共建設、民間建設は安定して受注を頂いている。
	B	売上は前月比10%程度減、業界より景況感に明暗があり、産機の落ち込みは大きい。一部、災害影響の需要が出てきている。
東京	A	需要が例年に比べ伸びず、在庫も捌けず苦勞している。
	B	首都圏の建築土木向け需要は堅調だが、その割に市況は軟調である。メーカーが供給増と値上げを同時進行した。予測を誤った地区流通会社の在庫処分売りが出始めた。
	C	薄板三品在庫が10月末431万6千トン。前月比11万9千トンとはいえ、販売環境は一向に変わらず、上向かない。輸入材の安価の話はあちこちで聞かれる。スクラップ価格は上向き出したが、ますます市況は下落していくように思う。
	D	最大の取引先は建機メーカーだが、米中貿易戦争を引き金とした需給悪化に加え、大型台風による部品メーカーの影響から需要は減少している。セグメントは時期により増減はるもののほぼ横ばいを維持している。

東京	E	(鋼管) 在庫はやや過剰である。
	F	(鉄筋) 価格は少し下がったが、横ばい。動きは低位横ばいである。
	G	(鋼管) ほぼ全分野で低調。先行きも不透明な状況になりつつある。
	H	薄板は採算度外視の見積りが得意先に廻り始める。ひたすら我慢の商いである。加工、製品、受注は旺盛で社内は満杯である。
	I	年末年始にかけて町工場の廃業が続いている。今後も廃業が続く見込みである。理由としては、後継者不在、設備が壊れた際に廃業を選択、作業者の高齢化など。また、9月、10月の台風の影響で廃業する会社も多数ある。
静岡	A	荷動きに回復は感じられず、一般形鋼で安値が散見されるようになってきた。1～3月期の需要も期待薄の状況。建築関連も大型案件は予定通り着工され始めているが、ボルト納期の影響で回転の良い中小案件が木造やRC造に変更になり、中小ファブの仕事量に不安がある。
	B	今年も大手鉄骨ファブの盛況は続き、供給先である大手加工流通店が順次供給するという図式で終わるだろう。Sグレード、Hグレードファブが求人へ積極的に呼応する話をよく聞くが逆に警鐘を鳴らす方々が多いそうだ。店売り主体の東西大手流通の見積り回答は安値で安定している。これも物流量が減っている裏付けだろう。某メーカーの鉄鋼商品製造拠点、シフト変更などは更なる合理化、コスト競争を暗示させる方に考えてしまう。ナショナルスタジアム(国立競技場)の完成、山の手線新駅公表、各地開発工事などすべて具現化した。今後、ようやく災害復興、インフラのシフトチェンジはスムーズに移行してほしいのと同時に多くの業者の生計の安定を考慮してもらいたい。
石川	A	月日を追うごとにモノ造りの減少が続いているが、中小分類の業種は国内中型企業中心で製造業が中心になっているため、若干減少傾向だが健闘していると感じられる。大手はどうしても間接経費も多く、海外市場の比率も多いため毎度の傾向になるのは仕方ない。海外が強くなれば、再び戻るのは、いつものパターンで時を待つしかない。
	B	ミルシートの対応の負担が増す中、阪上会長から記載様式統一化の提言をされたことに感謝したい。
富山		公共土木物件、プラント設備などがある。関東向け鉄骨物件が即納から見積り後注文に変わりつつある。北陸新幹線、停車駅周辺の交通網、商業施設、ホテルなどは建設ピークを越えるも中小物件も出てきている。しかし、反面、旧市街地の再開発の遅れが目立ち始めている。
愛知		(自動車) 12月に入り、増税の影響のせいか数量ダウンが続いており、厳しい状況が続く。(家具・陳列) 秋需は感じられず、12月に入っても落ち着いている。客先も物件、案件が少なく、良い話が聞こえてこない。現状がいつまで続くのか注視している。
三重		高炉メーカーはもちろん、電炉メーカーもスクラップの反発を受け、値上げしたいのはやまやまだが、市況は忙しく感じられず、市中価格はジリジリと下げているのが実情である。年末の駆け込み需要もパッとせず、一次加工も忙しくない。これが底だと明確に感じ取れる状況になるには1月の店売り価格発表後か? 来年に期待したい。

岐阜	A	産業機械、建設機械、設備関連など仕事量は減少している。1～3月も厳しくなってきたという声が聞こえてくるようになった。
	B	売上は悪い。利益は良好。身は多忙の状況。細かい特急品の仕事が多い。工作機械が悪いと日々の売上が寂しい。建築はパツとしないが、金物類が単価も通りやすく多い。しかし、11月、12月の時期に売上元は4、5年ぶりのことのように思える。与信管理を考えながら、高く販売してユーザーから叱られる位の利益率を考えたい。
大阪	A	11月は10月に比べ稼働日数が1日少なかった。H形鋼は販売増、一般形鋼も微減に終わった。ただ、昨年同期と比べると1割は減少している。12月以降もしばらく荷動きの悪い状態は続くものと思われる。
	B	賃貸住宅は落ち込んできたが、個人の持ち家、建売住宅は底堅い動きが続いている。一方、それ以外の民間建築部門は全般に動きが悪い。公共土木工事も本来の繁忙期に入り、漸く動きが出てきたが、今一步、力強さに欠ける。
兵庫		厚板流通、メーカーともに過剰気味。超短納期入荷にて在庫過多。
岡山		某自動車の販売が厳しいと聞く。大手半導体向け消耗部材も予定を下回っている。建築ストップの新規工場建設の話があった。
香川		相変わらず中小建築物件が盛り上がらない。故に倉出しが少ない状況が続いている。在庫は需要見合いで少なくしているが、出庫も少ないためあまり変化ない状況である。
北九州		足元スクラップ価格は小反発しているが、荷動きは横ばいで力強さに欠けている。市況も弱含みに推移しており、値上げまでとはいかない。